

2021年 4月 6日

阪神高速道路株式会社

## 入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 国道2号交差部工区開削トンネル工事	
質問提出日:2021年 3月30日 質問回答日:2021年 4月 6日	
質 問	回 答
番号1 設計書P3 共通仮設費  共通仮設費(率)算出について、地域補正の適用条件をご教授下さい。	番号1  土木工事標準積算基準(阪神高速道路株2020年7月)第1編 P2-31に記載のフロー図に基づき、共通仮設費(率)「一般交通影響有り(1)-2」の補正係数を適用しています。
番号2 設計書P3 現場管理費  現場管理率算出について、地域補正の適用条件をご教授下さい。	番号2  土木工事標準積算基準(阪神高速道路株2020年7月)第1編 P2-55に記載のフロー図に基づき、現場管理費「市街地(DID補正)(1)-2」の補正係数を適用しています。
番号3 設計書P5 開削掘削  掘削費について、8ブロック及び9ブロックの掘削深さをご教授下さい。	番号3  設計図を参考に貴社にてお考え下さい。
番号4 設計書P6 回転式鋼管杭  鋼管杭貫入費は、積算基準により計上されていますか、それとも見積により計上されていますか。	番号4  当社公表の土木工事標準積算基準に記載のない歩掛については、貴社にてご検討下さい。
番号5 設計書P10 防水(中間杭部)  底版部・頂版部防水材の施工数量をご教授下さい。 底版部・頂版部防水材設置費は積算基準によるものでしょうか、それとも見積により計上されていますか。	番号5  数量については、設計図を参考に貴社にてお考え下さい。 また、当社公表の土木工事標準積算基準に記載のない歩掛については、貴社にてご検討下さい。

質 問	回 答
<p>番号6 設計書P11 高圧噴射攪拌</p> <p>杭径φ3200 掘削長22.07m 31本について、作業条件による補正はないと考えてよろしいでしょうか。 また、施工方法はケーシング削孔でプロジェクトを使用すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>番号6</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号7 設計書P11 高圧噴射攪拌</p> <p>杭径φ3200 掘削長13.09m 75本および12本の作業条件は、狭所作業、交通規制により工事関係車両の往来作業が全体作業効率に影響を及ぼすと想定される場合、排泥処理作業が全体作業効率に影響を及ぼすと想定される場合、構台上での施工が想定される場合と考えてよろしいでしょうか。想定している作業条件係数をご教授下さい。</p>	<p>番号7</p> <p>標準案では、作業条件として標準作業を考えています。</p>
<p>番号8 設計書P11 高圧噴射攪拌</p> <p>摘要欄に用水費を含むと記載がありますが、水道料金は一般用又は業務用のどちらを見込んでいるのでしょうか。 また、水道料の基本料金についても見込んでいるのでしょうか。 さらに想定している1カ月の水道使用量をご教授下さい。</p>	<p>番号8</p> <p>個別の単価については、提示しませんので貴社においてお考え下さい。 また、水道料の基本料金は見込んでいません。 1カ月の水道使用量についても、貴社にてご検討下さい。</p>
<p>番号9 設計書P11 高圧噴射攪拌</p> <p>摘要欄に機械設備据付解体費を含むと記載がありますが、合計3回を見込んでいるのでしょうか。 また、プラント移動据付費、マシン移動据付費は見込んでいないのでしょうか。</p>	<p>番号9</p> <p>機械据付解体の回数については、特記仕様書別紙-1全体(概略)工程表を参考に貴社にてお考え下さい。 また、標準案ではプラント移動据付費、マシン移動据付費については計上していません。</p>
<p>番号10 設計書P11 下水幹線削孔</p> <p>想定している施工方法や詳細図面をご教授下さい。 保護管の規格についてもご教授下さい。 また、削孔費を含むと記載されていますが、保護管の撤去・運搬・処分費、コンクリート殻の運搬・処分費は含まないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>番号10</p> <p>具体的な工法についてはお示ししませんので、貴社にてご検討下さい。 また、保護管は当初設計においては未計上のため、設計変更の協議の対象とします。 なお、コンクリート殻の運搬・処分費は含んでいません。</p>

質 問	回 答
<p>番号11 設計書P13 下水幹線敷設工</p> <p>ボックスカルバートの荷下ろしに使用する大型クレーンは見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号11</p> <p>ボックスカルバートの荷下ろしに使用するクレーンは計上しています。</p>
<p>番号12 設計書P17 床版撤去</p> <p>床版撤去 151.5m<sup>3</sup>(床版撤去費含む)とは、特記仕様書P6 既設橋梁撤去工 橋梁部撤去「床版部は大型ブレーカーを用いて、約2×5m程度の大きさに一次破碎したブロック撤去」になっています、これは151.5m<sup>3</sup>のうち一部をブレーカー撤去として見込んでいるのでしょうか、または151.5m<sup>3</sup>すべてブレーカー撤去として見込んでいるのでしょうか。一部をブレーカー撤去として見込んでいる場合はその数量をご教授下さい。</p> <p>また、設計図103/186ではカッター切断と考えられるのですが、切断費は見込んでいないのでしょうか。</p>	<p>番号12</p> <p>床版撤去 151.5m<sup>3</sup>のうち一部をブレーカー撤去として見込んでいます。</p> <p>なお、ブレーカー撤去の数量については、2021年1月20日掲載の受付番号10の質問回答書「番号1」を参照し、貴社にてお考え下さい。</p> <p>また、標準案ではカッター切断を行わないと考えているため、切断費は見込んでいません。</p>
<p>番号13 設計書P20 先行削孔(鋼矢板部) 河川側 (Φ700 掘削長L=14.5m)</p> <p>見込んでいる工法名や積算基準をご教授下さい。または見積による計上を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号13</p> <p>具体的な工法についてはお示ししませんので、貴社にてご検討下さい。</p> <p>また、当社公表の土木工事標準積算基準に記載のない歩掛については、貴社にてご検討下さい。</p>
<p>番号14 設計書P20 先行削孔(鋼矢板部) 民地側 (Φ700 掘削長L=14.5m)</p> <p>見込んでいる工法名や積算基準をご教授下さい。または見積による計上を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号14</p> <p>上記回答番号13の回答と同じです。</p>
<p>番号15 設計書P21 下水幹線撤去</p> <p>特記仕様書「開削掘削時に取壊し」は、コンクリート圧砕機による取壊しを見込んでいるのでしょうか。また、積込費ですが設計図174/186では油圧ラムシェルになっています。市場単価(積込費含む)はバックホウによる積込のため、別途ラムシェルによる積込を見込んでいるのでしょうか、それとも設計変更の対象でしょうか。</p>	<p>番号15</p> <p>下水幹線撤去については、土木工事標準積算基準(阪神高速道路株2020年7月)第2編 P17-20の「④ 構造物とりこわし工」で計上しています。</p> <p>なお、覆工板(路面)までの吊り上げ費用については設計変更にて追加します。</p>

質 問	回 答
<p>番号16 設計書P24 仮設H鋼杭 (支持杭 H-350 L=13.5m 38本)</p> <p>見込んでいる工法名や積算基準をご教授下さい。 または見積による計上を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号16</p> <p>仮設H鋼杭の建て込み費については、土木工事標準積算基準(阪神高速道路株2020年7月)第2編 P4-50の「4 H鋼建込工法」で計上しています。</p>
<p>番号17 設計書P24 仮設H鋼杭 (支持杭 H-400 L=28.0m 18本)</p> <p>見込んでいる工法名や積算基準をご教授下さい。 または見積による計上を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号17</p> <p>具体的な工法についてはお示ししませんので、貴社にてご検討下さい。 また、当社公表の土木工事標準積算基準に記載のない歩掛については、貴社にてご検討下さい。</p>
<p>番号18 設計書P24 仮設H鋼杭 (支持杭 H-400 L=28.0m 12本)</p> <p>見込んでいる工法名や積算基準をご教授下さい。 または見積による計上を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号18</p> <p>上記回答番号17の回答と同じです。</p>
<p>番号19 設計書P24 覆工板</p> <p>摘要欄に覆工板開閉工の記載がありません。当初は見込まず、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>番号19</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号20 設計書P25 水替</p> <p>水替えは、作業時排水または常時排水のどちらを見込んでいるのでしょうか。 また、ポンプ設置箇所は8ブロックと9ブロックにそれぞれ1箇所を見込んでいるのでしょうか。 さらに、ポンプ設置期間は、8ブロックについては開削掘削～本体埋戻しまでとし、9ブロックについては下水幹線掘削～本体埋戻しまでとしているのでしょうか。 具体的なポンプ設置期間日数をご教授下さい。</p>	<p>番号20</p> <p>水替えは作業時排水として考えており、ポンプ設置箇所は施工ブロックごとに1箇所(合計6箇所)を考えています。 また、ポンプ設置期間は、土木工事標準積算基準(阪神高速道路株2020年7月)第2編 P15-7に記載されている水替工の供用日数を考えています。 なお、具体的なポンプ設置期間日数については、特記仕様書別紙-1全体(概略)工程表を参考に貴社にてお考え下さい。</p>
<p>番号21 設計書P32 磁気探査業務費</p> <p>磁気探査業務で使用するライトバンの規格は、1500ccまたは2000ccのどちらを見込んでいるのでしょうか、ご教授下さい。</p>	<p>番号21</p> <p>磁気探査業務で使用するライトバンの規格は、貴社にてお考え下さい。</p>

質 問	回 答
<p>番号22 設計書P33 報文執筆</p> <p>摘要欄に印刷製本費の記載がありませんが、印刷製本費は見込んでいないのでしょうか、ご教授下さい。</p>	<p>番号22</p> <p>ご質問のとおりとお考え下さい。</p>
<p>番号23 数量総括表P5 止水板</p> <p>止水板(センターバルブ型)は、規格としてW=300、t=7を見込んでいるのでしょうか。参考図では耐震タイプに読み取れますが、耐震タイプの規格を見込んでいるのでしょうか。</p>	<p>番号23</p> <p>数量総括表に記載している止水板(センターバルブ型)の規格W=300、t=7は誤記であり、W=300、t=8が正となります。また、耐震タイプの規格は見込んでいません。なお、数量総括表の該当箇所については別添正誤表のとおり修正いたします。</p>
<p>番号24 数量総括表P6 (先防水)</p> <p>防水(底版部)は、積算基準により計上されていますか、それとも見積により計上されているのでしょうか。</p>	<p>番号24</p> <p>土木工事標準積算基準(阪神高速道路㈱2020年7月)第2編 P15-16「2-1 防水(シート)工 底部」で計上しています。</p>
<p>番号25 数量総括表P33 H鋼杭 質量</p> <p>8-2ブロックの数量が53.46tになっています、これは13.5m/本が12本との整合性がとれませんのでご教授下さい。</p>	<p>番号25</p> <p>ご質問の8-2ブロックのH鋼杭数量について、53.460tは誤記であり、21.870tが正となります。なお、数量総括表の該当箇所については別添正誤表のとおり修正いたします。</p>
<p>番号26 特記仕様書P8 9-4</p> <p>水替え工に伴い発生する水は、沈砂処理を行い、流量計を設置して放流とありますが、沈砂池の施工(または沈殿水槽の設置)や流量計の設置については、当初は見込まず、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>番号26</p> <p>当初設計においては沈砂処理、流量計設置の費用は見込んでいませんが、設計変更の協議の対象と考えています。</p>
<p>番号27 設計図171/186～177/186 STEP8～STEP14</p> <p>昼夜間4車線を確保しての作業については、資材の横移動(掘削土、鉄筋、土留支保工など)が発生すると考えます。横移動に発生する費用については、当初は見込んでいないが設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>番号27</p> <p>横移動に発生する費用については協議の対象としません。</p>

国道2号交差部工区開削トンネル工事 正誤表

番号23関係

(正)

工種	種別	細別	規格	区分	単位	8ブロック			9ブロック			合計
						8-1	8-2	8-3	9-1	9-2	9-3	
函	継	(施工継手)		元設計								
		止水板(水平)	非加硫ブチルゴム系 (鉄板芯材入り) W=200, t=6	元設計	m	120.0	125.4	120.0	79.9	80.0	80.0	605.3
		止水板(垂直)	非加硫ブチルゴム系 (鉄板芯材入り) W=200, t=6	元設計	m	60.4	56.8		55.4		55.4	228.0
		弾性シーリング材(水平)	ゴムアスファルト系	元設計	m		46.6	43.0	79.9	80.0	80.0	329.5
		弾性シーリング材(垂直)	ゴムアスファルト系	元設計	m		17.8	17.8	59.9		59.9	155.4
		(構造継手)		元設計								
		止水板	センターバルブ型 W=300, t=8	元設計	m			58.2			56.2	114.4
		スリップバー	SS400 φ25, L=1.0m	元設計	本			120			110	230
		防護管	VU φ40, L=0.55m	元設計	本			120			110	230
		スパイラル鉄筋	SD295A D13 L=1.970m φ100用	元設計	本	120			110			230
		スパイラル鉄筋	SD295A D13 L=2.950m φ150用	元設計	本			120			110	230
		目地材	瀝青材 t=20mm	元設計	m <sup>2</sup>	67.0			60.7			127.7
		弾性シーリング材	変成シリコン	元設計	m	64.4			58.9			123.3
				元設計								
				元設計								
		工	工			元設計						
				変更設計								

※構造継手における止水板の規格を修正しました。

(誤)

工種	種別	細別	規格	区分	単位	8ブロック			9ブロック			合計
						8-1	8-2	8-3	9-1	9-2	9-3	
函	継	(施工継手)		元設計								
		止水板(水平)	非加硫ブチルゴム系 (鉄板芯材入り) W=200, t=6	元設計	m	120.0	125.4	120.0	79.9	80.0	80.0	605.3
		止水板(垂直)	非加硫ブチルゴム系 (鉄板芯材入り) W=200, t=6	元設計	m	60.4	56.8		55.4		55.4	228.0
		弾性シーリング材(水平)	ゴムアスファルト系	元設計	m		46.6	43.0	79.9	80.0	80.0	329.5
		弾性シーリング材(垂直)	ゴムアスファルト系	元設計	m		17.8	17.8	59.9		59.9	155.4
		(構造継手)		元設計								
		止水板	センターバルブ型 W=300, t=7	元設計	m			58.2			56.2	114.4
		スリップバー	SS400 φ25, L=1.0m	元設計	本			120			110	230
		防護管	VU φ40, L=0.55m	元設計	本			120			110	230
		スパイラル鉄筋	SD295A D13 L=1.970m φ100用	元設計	本	120			110			230
		スパイラル鉄筋	SD295A D13 L=2.950m φ150用	元設計	本			120			110	230
		目地材	瀝青材 t=20mm	元設計	m <sup>2</sup>	67.0			60.7			127.7
		弾性シーリング材	変成シリコン	元設計	m	64.4			58.9			123.3
				元設計								
				元設計								
		工	工			元設計						
				変更設計								

国道2号交差部工区開削トンネル工事 正誤表

番号25関係

(正)

工種	種別	細別	規格	区分	単位	8-1ブロック	8-2ブロック	9ブロック			合計	
仮設工	工	H鋼杭(SS400)	杭長	元設計	m/本	13.5	31.5	13.5				
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	事	H鋼杭(SS400)	本数	元設計	本	26	4	12				42
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	用	H鋼杭(SS400)	質量	元設計	t	47.385	17.010	21.870				86.265
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	架	継工		元設計	箇所	26	8	12				46
		※		変更設計								
	橋	H鋼杭撤去	頂版部切断1箇所	元設計	箇所	26		12				38
		※	支持杭	変更設計								
	工	H鋼杭撤去	車道部切断2箇所	元設計	箇所	26		12				38
		※	支持杭	変更設計								
	工	スクラップ		元設計	t	2.850		1.315				4.165
		※		変更設計								
	工	賃料		元設計	t	24.219		11.178				35.397
		※		変更設計								
	工	撤去しない埋設		元設計	t	20.316	17.010	9.377				46.703
		※		変更設計								
	工	※	合計	元設計	t	47.385	17.010	21.870				86.265
				変更設計								
工	工			元設計								
				変更設計								
上記の※については参考数量であり、契約数量を示しているものではない。												

※8-2ブロックにおける「H鋼杭質量」および「撤去しない埋設」の数量を修正致しました。

(誤)

工種	種別	細別	規格	区分	単位	8-1ブロック	8-2ブロック	9ブロック			合計	
仮設工	工	H鋼杭(SS400)	杭長	元設計	m/本	13.5	31.5	13.5				
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	事	H鋼杭(SS400)	本数	元設計	本	26	4	12				42
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	用	H鋼杭(SS400)	質量	元設計	t	47.385	17.010	53.460				117.855
		H-350×350×12×19※	支持杭	変更設計								
	架	継工		元設計	箇所	26	8	12				46
		※		変更設計								
	橋	H鋼杭撤去	頂版部切断1箇所	元設計	箇所	26		12				38
		※	支持杭	変更設計								
	工	H鋼杭撤去	車道部切断2箇所	元設計	箇所	26		12				38
		※	支持杭	変更設計								
	工	スクラップ		元設計	t	2.850		1.315				4.165
		※		変更設計								
	工	賃料		元設計	t	24.219		11.178				35.397
		※		変更設計								
	工	撤去しない埋設		元設計	t	20.316	17.010	40.967				78.293
		※		変更設計								
	工	※	合計	元設計	t	47.385	17.010	53.460				117.855
				変更設計								
工	工			元設計								
				変更設計								
上記の※については参考数量であり、契約数量を示しているものではない。												